

そうせいと維新

ふじ い つばさ
藤井翼

会派「そうせいと維新」
について…

私たちは、無所属の藤井翼／小松健／菊地格夫の3人と、日本維新の会所属の若松尚利との、計4人で構成される秋田市議会の交渉会派です。

はじめに



会派「そうせいと維新」
建設委員会副委員長
藤井翼 幹事長

ふじ い つばさ
藤井翼



秋田市議会議員の藤井翼です。

はじめに、昨年4月の統一地方選挙におきまして、地元外旭川をはじめ、市内各地より応援とご支持を賜りました事に心から感謝を申し上げます。初登庁から約10か月が経ちましたが、個人としての成長と秋田市議会議員としての責任をしっかりと果たして参ります事をお誓いいたします。皆様には、未熟な私に対し、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

さて、県都秋田市は、令和5年11月に人口30万人を下回りましたが、東北4番目であるこの中核市が私たちの住むまちです。私はこの秋田市が大好きなので、「秋田は田舎だ」と言われるは面白くないですし、「秋田には何もない」と言われるととても残念な気持ちになります。一方で、年々人口が減り続け、街の様子も元気いっぱいとは言えないのも事実です。しかし、このまま先細りしていく秋田市を「仕方ない」「どうせ」と、黙って見ている事はできません。私は、人口30万都市の復活に向け、前向きで積極的な提案をして参ります。

これまでの活動・視察

豪雨災害時について

中心市街地では南通り・楢山地区を中心に、東通・広面地区などへ災害ボランティア協力員と共に現地へ入り、状況の把握と調査確認に回りました。また、雄和地区・河辺地区へは自民党会派と合同視察を行い現場の状況確認と情報共有を行いました。地元地区ではランダムに各町内会長を訪問し被害の確認と要望の聞き取りを行っております。



街頭での「朝のあいさつ運動」

三後田交差点（外旭川アンパス入口）、帝石踏切付近、天徳寺前、操車場入口交差点の4カ所にて、毎月各1回ずつ朝のあいさつ運動に立っております。



議員連会議、視察等

- スポーツ振興議員連盟と秋田市スポーツ協会との意見交換会
- 北部議員団管内視察／卸売市場、下新城中野西町、秋田港湾
- 建設産業を考える議員の会と秋田商工会議所建設部会との意見交換
- 北部議員団と北部地区自治会連合会等との意見交換会
- 農林議員の会研修会、意見交換会 ほか

県外会議、視察等

- 「中核市サミット2023」
栃木県宇都宮市 ライトキューブ宇都宮
未来世代への責任と実践
～夢や希望がかなう中核市を目指して～
- スタジアム視察
グリーンスタジアム栃木/
カンセキスタジアム
- LRTライトラインへの乗車体験



建設委員会視察

- 和歌山県和歌山市
リノベーションまちづくりについて
- 兵庫県姫路市 食品ロス削減事業について
- 奈良県奈良市
トライアルサウンディングについて



秋田市議会会派そうせいと維新 控え室

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号
018-888-5408

編集責任者 藤井翼 ✉ tsubasa.f.akita@gmail.com

📷📱からも「藤井翼Q」まで
DMなどにて皆様の声をお聞かせください。

11月定例会
一般質問の動画



問

答

先の11月定例会で初登壇 および一般質問に立ちました



中心市街地のにぎわい創出について

週末のイベントだけに頼らない平日昼の人口を増やし、賑わいを創出する必要があります。オフィスビルの空きテナントを活用することを、「中心市街地の発展と、経済成長に向けて重要な一歩」と捉え、市が積極的に整備し、受け入れ体制を整えていくというのが効果的ではないでしょうか。

問 オフィスビルの空きテナントを活用して企業誘致を進めていく考えはないか

答 市が新たに空きテナントを借り上げし、整備を行う考えはありませんが、チャレンジオフィスあきたを活用するほか、建物賃借助成金やレンタルオフィス等の入居費用を補助するなど、中心市街地への企業誘致を進めてまいります。

若者の県内就職について

若者が一度、進学や就職で外の世界へ行ってみたいという気持ちも止められませんが、そうであるならば、戻って来たいと思える秋田を作り、地元秋田で活躍できる環境づくりに取り組みたい。みんながみんな「秋田が嫌い」で帰って来ないのではないと思うし、帰りたいけど帰れない秋田を「帰れる秋田」にする為にアイデアを結集させる必要があります。

問 企業誘致や就職支援において、若者を対象とした意識調査を行うなど、当事者の意見を取り入れていく仕組みを構築してはどうか

答 大学生等を対象とした市内企業研究会や高校生を対象とした就職支援講座では、参加者アンケートを実施し、意見を取り入れ、行っているところがあります。今後も様々な機会を得た若者の意見を、企業誘致や就職支援に関する施策・事業へ反映させてまいります。

就職は、健常者に限ったことではありません。特別支援学校を卒業した若者にも、社会に出て自立し、恋をし、結婚をして、家庭を築くという夢や希望を持ち、当たり前暮らしをしていく権利があり、正社員としてしっかりと保障のもとで働ける環境が必要です。

問 特別支援学校を卒業した若者が、地元企業の正社員として就職できるよう、本市として積極的に事業者に対する働きかけや支援を行うべきと考えらるかどうか

答 障がい者を雇用する市内事業者に対し、就労環境の整備や備品購入等に係る費用を補助する支援制度を実施しております。さらに、アンダー40正社員化促進事業により、非正規雇用者の正規転換を支援しております。引き続き事業者への働きかけや支援に努めてまいります。



公共交通の利便性の向上について

現在、利用者が少ないのは、不便だから乗らないのです。便利であればみんな乗ります。バス事業を縮小している場合ではないと考えます。しかし、これを民間1事業者に押し付けるのはかなり無理難題があるでしょう。私は、市の責任で相応の費用を負担して整備する必要があると思います。

問 交通局を復活するなど、本市もバス事業者と連携してバス路線を維持すべきと考えるがどうか。また、新規参入を促すため、参入事業者に対して補助金を交付するなどの支援を行う考えはないか

答 本市では現在、鉄道、バスおよびタクシーの特性を生かした役割分担による公共交通網の再編に向けた取組を進めております。併せて再編後の安定的な運行等に係るバス事業者との緊密な連携についても、今後検討を進めていくことから、交通局の復活や新規参入事業者への支援については考えておりません。

秋田の冬は寒い。夏は日差しが痛いほどです。このような環境の中でバスをまだかまだかと待ち続けなければなりません。それを「仕方ないでしょう」と思うのであれば、私にはその気持ちがわかりません。

問 バス停に待合室や屋根、風よけを整備するための支援を行うべきと考えるがどうか

答 多額の経費を要するほか、用地の確保等課題も多いことから、支援の実施は考えておりませんが、スマートフォンなどで運行情報を確認できるサービスの充実を図り、長時間バス停で待たなくてもよい環境の構築を進めているところであります。

「あそぶ」を本気で考えるについて

秋田には遊べる所がとにかく少ないと感じます。「秋田には何もない」「秋田は田舎だ」という声は、これも大きな原因で、地元を嫌う一因にもなっています。恋人たちがデートをして、結婚して子供と遊びに出かける場所、そんな理想を描ける地域として、その選択肢を充実させ、魅力ある環境を整えていかなければならないと思います。

問 アウトレットモールやコストコ、イケアなど、市民の日常会話から聞かれる商業施設等の誘致を行う考えはないか

答 大型商業施設の新規出店は、魅力ある訪問先としての選択肢が増える一方、既存の商店街等との競合などマイナス面も懸念されることから誘致することは考えておりません。

問 若者のデートから子育て世代までをターゲットとしたテーマパークの整備や誘致などを検討してはどうか

答 子ども未来センターや各市民サービスセンターなど、市内9か所に屋内の遊び場を整備しているほか、一つ森公園や大森山動物園などの屋外施設があります。テーマパークの整備や誘致は考えておりませんが、既存施設の周知を行いながら、若者や子育て世代に魅力ある環境づくりに努めてまいります。

外旭川地区に関する質問と答弁

外旭川地区まちづくりについて

地元では住民の皆さんから「我々が生活している間には完成しないんだろうな」といったネガティブな声も多く聞かれます。他都市では、10年、20年あれば、新しいものができ、新しい時代に入っていくのですが、秋田市では議論ばかりで先に進みません。これが今の秋田市の「現状」と「姿」そのものなのだろうと感じます。ぜひ、スケジュールの短縮と早期の実現を求めます。

問 秋田北/農/工/商共存型まちづくり構想から、これまでかなりの時間が経過したが、市長は、地元住民の思いに対し、真摯に向き合ってきたと考えているのか

答 これまでも、まちづくり構想に期待されている地元の皆様の思いを受け止めながら、検討を進めてきたところであり、本市が抱える課題解決につなげられるよう、モデル地区の実現に向け取り組んでまいります。

問 市長は、事業パートナーであるイオンタウン株式会社と同地区まちづくりの実現に向け、どのような覚悟を持って取り組むのか

答 私は人口減少をはじめ大きな困難に直面している今こそ前を向き、市の財政が苦しい中であっても、民間の知見や資金等を活用し、新たな挑戦を続けていくことが、本市の未来を切り開くものと確信しております。事業パートナーなどと連携し、市勢発展につなげていく決意であります。

問 事業スケジュールを短縮する可能性はあるか

答 現在進めている卸売市場再整備基本計画の策定過程において、工期の短縮や事業費削減が図られるよう鋭意取り組んでいるところであり、こうしたことを踏まえ、モデル地区の早期実現に向け検討してまいります。

泉外旭川駅から東に約1km、西に約2kmの自転車歩行者専用道路があります。課題として、照明がなく、夜間は真っ暗になること、草が伸び道幅が狭くなり、すれ違いに不便を来していることが挙げられますが、課題がクリアできれば、モデル地区までの動線として活用でき、また、街灯を設置することにより、夜間の安全が確保されることから住民の生活にも寄与でき、更に同駅の利用者増加も期待できます。

問 泉外旭川駅から東西に延びる既存の自転車歩行者専用道路を新たな公共空間として整備してはどうか

答 今後、まちづくりの整備が具体化していく中で研究してまいります。なお、当該道路については、歩行者等がより安全に通行できるよう、一部の狹隘な区間の拡幅整備を検討してまいります。

新スタジアム整備について

絶対的に求められるのはスピード感です。チームを愛し秋田を愛する多くのサポーターの皆さんも気が気でない思いをしています。これまで多くの時間とお金を費やして議論したのであれば、ブレずにスピード感を持って最速の方法で取り組むべきです。

問 ブラウブリッツ秋田が、今後もJ1クラブライセンスを取得する上で、新スタジアム整備が必要となることに鑑み、スピード感を持って整備に取り組むべきではないか

答 余剰地に整備する場合には、卸売市場再整備のスケジュールと整合を図る必要があります。検討状況を随時Jリーグに報告し、理解を得られるよう、県やブラウブリッツ秋田とともに検討を進め、新スタジアムの整備に引き続き取り組んでまいります。